

令和8年熊本地震に関する総長談話

令和8年熊本地震により被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

このたびの地震によりお亡くなりになられた方々、さらにはご遺族の皆様へ、心から哀悼の意を表します。

また、余震が続く中、避難生活を余儀なくされている皆様、不安の中におられる多くの皆様、それぞれのご心情をお察し申し上げますとともに、一刻も早く平穏な日々をお過ごしになれますようお願いしております。

宗門では、地震発生直後から被害状況の把握に努め、7月29日以降、復旧支援隊を随時派遣するとともに、「たすけあい運動募金」において災害義援金の受付を開始いたしました。さらに、同日、宗務所に「令和8年熊本地震緊急災害対策本部」を、また、熊本教区教務所に「現地緊急災害対策本部」を設置し、物心両面にわたる支援をいたしております。

この夏の暑さ厳しき折、断水等のライフラインが絶たれる地区も未だ残る中、先行きの見えない不安を抱えながらの生活は、想像を超えた厳しいものであることと存じます。復旧支援にご尽力されておられる方々に深く敬意を表しますとともに、被災された皆様の安全と一日も早い復興を願い、宗門として引き続き支援してまいります。

2026（令和8）年8月3日

浄土真宗本願寺派

総長 園城義孝